

調布市議会第1回定例会報告

厚生委員会

当委員会の審査予算額は約373億2千万円でした。



当委員会が担当している主な分野

0歳～18歳までの子育て支援・青少年の育成
高齢者や障がい者の暮らしを支える介護・福祉
市民の健康づくりを推進する予防・医療 etc

- ◎鮎川有祐
 - 武藤千里
 - 雨宮英雄
 - 井上耕志
 - 鈴木宗貴
 - 須山妙子
 - 広瀬美知子
- ◎委員長 ○副委員長

《報告事項》

①保育園待機児童対策について

保育園待機児童数の推移とこれまでの取り組みを踏まえて本年度整備される施設や保育事業、これからの調査について説明します。

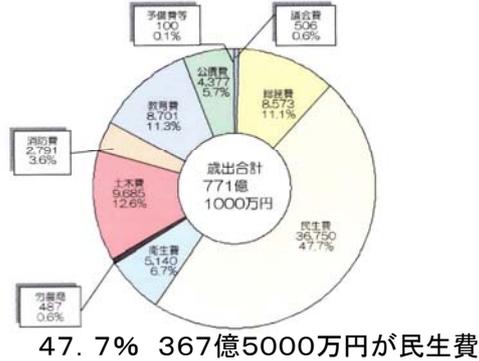
②高齢者施策について

市内の高齢者の現状をもとに、一人暮らしや認知症等、これからの課題、それに対する施策への審議について説明します。

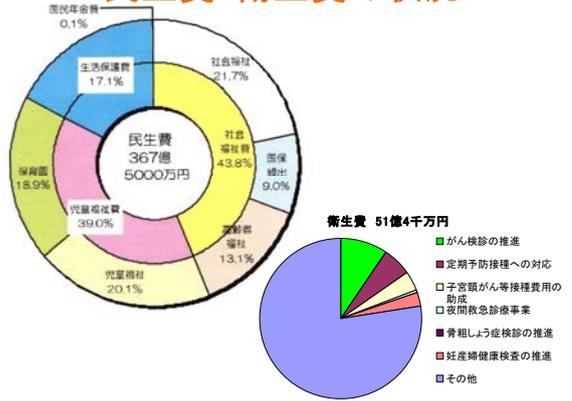
③その他(障がい者・健康づくり)

様々な障がいをお持ちの方への、健康づくり施策について説明します。

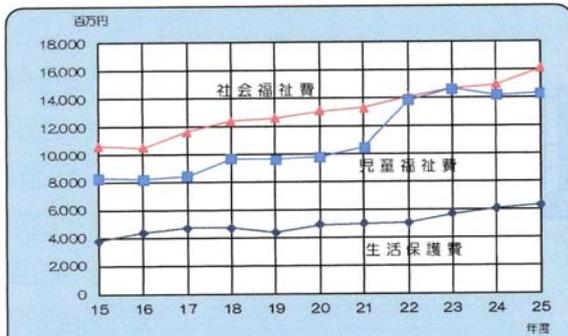
調布市の一般会計予算状況



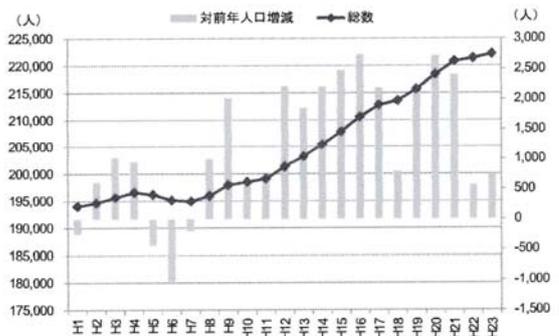
民生費・衛生費の状況



民生費の推移



調布市の人口の推移



待機児童対策について



毎年保育園が足りない事態に

待機児童対策を「最優先課題」に

調布市

市長は「待機児ゼロ」を目指して取り組んでいるが…

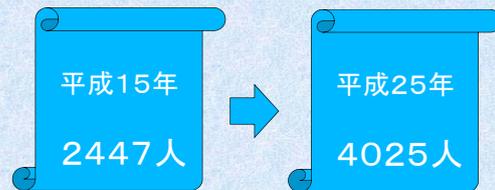
今年
認可保育園への入園希望者
1425人



昨年を上回る
待機児童数に

- ・認証保育所など認可外の保育施設
 - ・一時保育
 - ・自宅で保育
- 仕事と子育ての両立は不可能だ…

がんばって保育園を増やしてきたのに なぜ？



対象年齢人口に対する定員数は
23.5% → 34%へ
にもかかわらず待機児は増

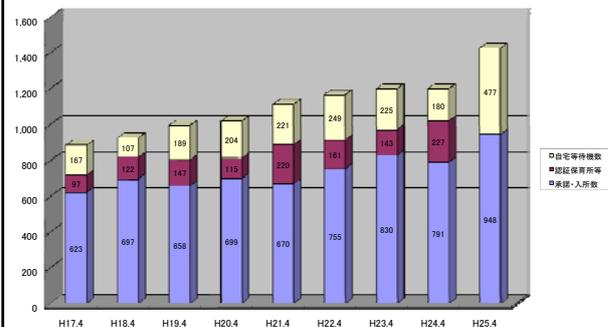
保育園を必要とする世帯の増大

共働きで子育てをする世帯が急増
この5年間で
46.1% → 53.8% (過半数突破)



対象年齢人口の半数程度が
保育園を必要とする世帯に

毎年、入所希望者が保育園の定員増分を上回って増大



厚生委員会での議論

- 待機児童対策は急務
 - …少子化対策、経済や自治体財政を支える「労働」を保障
- アンケートや満足度調査など
 - …待機児童の現状や課題、効果的な対策を講じる
- 認可保育園の整備・定員拡大を前倒しに
 - …市民のニーズや窓口での要望
- 認証保育所や保育ママなどの役割
 - …そのためにも、保育料負担の軽減などの措置を



急速に進む高齢化 ・ひとり暮らし高齢者も増加



こうした中で様々な問題も発生

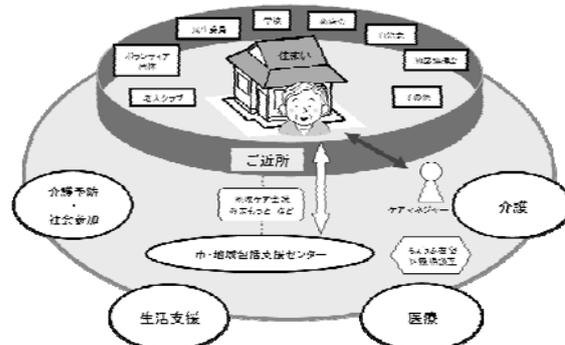
- ◆ 孤独死
- ◆ 認知症・徘徊
- ◆ 介護ストレスによる高齢者への虐待
- ◆ 老々介護

市への通報も増えている

地域包括ケアについて

- ① 地域の見守りや支えあいの体制づくり
- ② 医療と福祉の連携強化
- ③ 在宅支援の基盤整備
- ④ 認知症高齢者への支援充実
- ⑤ 健康づくり・介護予防の充実

地域包括ケアシステムのイメージ図



厚生委員会での議論の中で 様々な課題も明らかに

- 民生委員のなり手がいない(後継者問題)
…システムのカギを握る方々
- 介護者のケアの必要性
…共倒れ、虐待予防のためにも
- 特別養護老人ホームの整備拡充など
…「地域ケアシステム」だけではカバーしきれない

団塊の世代が75歳を迎える平成37年
高齢者施策は待ったなしの課題



主な障がい者施策

- ・就労支援や(4501万円)
地域で生活するための生活支援(1億5739万円)
- ・災害発生した際の避難支援プログラムづくり
(102万円)
- ・重度障がい者の福祉サービス事業所の開設
にむけた施設整備費の助成(2億4900万円)
- ・作業所等経営ネットワーク支援事業(578万円)

希望の家 深大作業所
(図書館深大寺分館跡)



健康づくり施策

- ・がん検診の推進(4億8999万円)
- ・定期予防接種への対応(2億9210万円)
- ・子宮頸がん・ヒブ・小児肺炎球菌ワクチン接種費用の助成(1億9568万円)
- ・夜間救急診療事業(3194万円)
- ・骨粗しょう症検診の推進(142万円)
- ・妊産婦健康検査の推進(1億4351万円)
- ・食育推進事業費 地域健康教育の推進
- ・国保ヘルスアップ事業(800万円)

厚生委員会視察(呉市)



- ・国民健康保険税 ヘルスアップ事業
- ・医療費適正化事業

まわりの体調フォローで健康アップ！



ふーちゃん

調布市民健康づくりプラン
マスコットキャラクター
平成25年3月生